



野生植物研究所だより



● 春の七草 ●

日本の各地が気象庁の観測史上始まって以来の寒さや大雪に見舞われ、除雪作業に自衛隊が出動するなど、各地に大きな被害もでています。大崎地方でも雪が多く寒さが厳しい地域はあるものの比較的生活のしやすい地域に入るのではないかと思います。まだ1月半ばとはいえ春が待ち遠しいものです。

【七草粥】

七草粥は、正月七日の朝、7種類の草を入れたお粥を作って神前に供え、その粥を家族で食べて無病息災を祈願します。春の七草といいますが、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、ズズシロの7種をいいます。セリは田や側溝、小川の縁などに生えています。ナズナは方言でペンペン草と言っているもので、畑やその周辺に普通に見られ、ごまあえなどにすると大変おいしいものです。ゴギョウはハハコグサのことで、庭や畑などに普通に見られます。ハハコグサの葉は白い綿毛に被われ薄い綿を被っているような感じにみえます。5月頃玉子のキミのような色をした小さな花が集まって咲きます。全体が綿毛に被われているため、草餅のつなぎの材料としても利用されます。ハコベラはハコベのことで、畑の雑草の代表的なものです。小鳥の餌などにもよく利用し、産後の乳の出が悪いときに食べると乳の出が良くなるということで薬草としても利用されます。問題はホトケノザです。この七草のホトケノザはキク科のコオニタビラコのことなのですが、植物図鑑に出てくるホトケノザはシソ科の植物で七種のホトケノザとは似ても似つかない植物です。またこの七草のホトケノザ、すなわちコオニタビラコは、タビラコという別名もあり、昔は田んぼにかなり見られた植物なのですが、現在は山手の田んぼにわずかに見られるだけで、手にいれることがほとんど出来なくなった植物の一つです。スズナはカブ、ズズシロはダイコンです。

【所長の家の七草粥】

所長宅では、所長が七草の材料を集める役です。本来の七草に限らず手に入るものをお粥に入れることにしています。ですからその年々で違ったものが入ります。6日の午後、所長は七草粥に入れる材料を取りに畑へ出かけました。今年は雪が多く畑一面雪に覆われていました。ところがほんの一部雪がないところがありそこでハコベとナズナを摘みました。ダイコンは雪をどけていけてあったものを掘り出し、その葉を摘みました。昨年摘んだゴギョウのハハコグサはどこにあるのか、雪でわからず、その代わりにヨモギを摘みました。野菜のコマツナとツボミナも雪をよけて摘みました。セリは店で買ってくるということ

で合わせて7種類としました。7日の朝、七草を包丁でたたくのですが、所長の母の代までは「唐土の鳥と、いなかの鳥と、渡らぬ先に、七草たたけ、七回たたけ」と唱えながら作っていました。お粥を煮て、それにたたき刻んだ七草と焼いた餅を入れ、塩だけで味付けした「七草粥」をつくり、それを神前に供え、家族全員で食べる。七草粥を食べるとこの一年間無病息災でいられるといわれています。しかし七草粥は、子供にとってはあまりおいしいものではなさそうです。所長宅では七草粥を食べないうちは、好きなあんこ餅も納豆餅もりの餅も雑煮もたべてはいけません。4歳になる孫は食べたくないと泣き出してしまいました。食べるのを手伝ってあげるからということで、少しだけ食べさせました。七草粥を食べないうちは、好きなあんこ餅など食べてはならないという習慣、それはそれで大変よいことだと思っています。七草粥は、年をとるに従っておいしく感じられるお粥の一つかもしれませんね。皆さんのお宅での七草粥はいかがだったでしょうか。



【連絡先】 〒989-6252 宮城県古川市荒谷字箕ノ子町12-2 ☎ 0229-28-3601 FAX 0229-28-4452

Blog: <http://plaza.rakuten.co.jp/wakichi/> E-mail: nagaguduwakichi@yahoo.co.jp

URL: <http://www.wakichi.com/>